

# ソーシャル PM 実践ワークショップ 2021 第 2 回 「ソーシャル課題解決に向けたステークホルダー & ベネフィットマネジメント実践WS」 実施報告

ソーシャル PM 研究会は社会課題の解決(ソーシャル・プロジェクト)を目的とするマネジメント手法の開発と普及に取り組んでいます。2021 年は4回の「ソーシャルPM実践ワークショップ」を企画し、第2回として「ソーシャル課題解決に向けたステークホルダー & ベネフィットマネジメント実践WS」を下記の通り開催しました。

◆開催日時:2021年10月23日(土)9時30分~17時00分

◆会場:オンライン (ZOOM)

◆詳細:<https://pmi-japan.eventos.tokyo/web/portal/426/event/3584>

## ワークショップの概要

社会課題解決を行う上で4回シリーズ「ソーシャルPM 実践ワークショップ2021」の第二弾として、ステークホルダーマネジメントとベネフィットマネジメントをテーマにワークショップを開催しました。

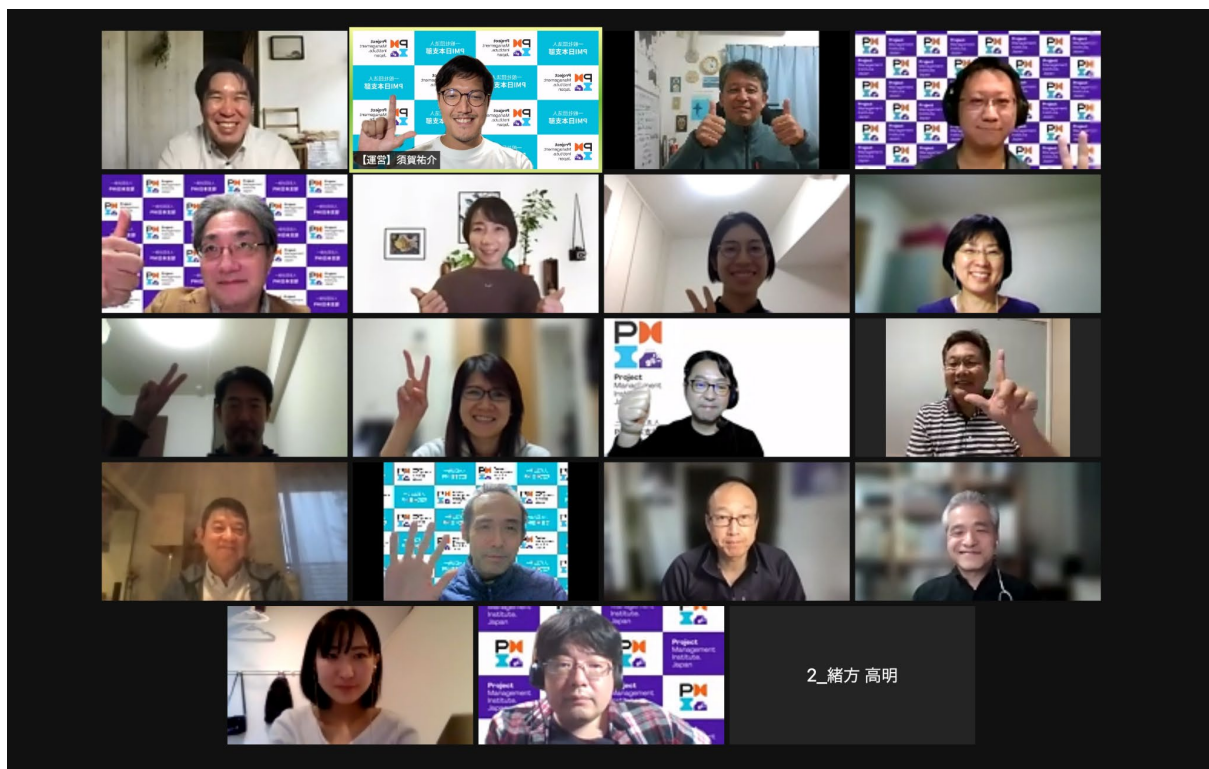
ソーシャルプロジェクトにおける複雑なステークホルダーのマネジメント手法、およびステークホルダーそれぞれのベネフィットをマネジメントする手法を活用し、ソーシャル課題の解決に必要なプロセスを体感し、理解するような内容となっております。

# 当日の流れ

当日は渡辺講師、高橋講師から以下の流れで講義と演習を行いました。

1. イントロとして、ソーシャルPM研究会の紹介と、その背景にあるソーシャル課題に関する紹介
2. ステークホルダーマネジメントに関する講義
3. テーマに沿ってステークホルダーマネジメントを体験するための演習
4. ロジックモデルに関する講義
5. テーマに沿ってロジックモデルの作成演習
6. ベネフィットマネジメントに関する講義
7. テーマに沿ってベネフィットマネジメントを体験するための演習
8. クロージングとして、1日の振り返り

演習では、「地方自治体におけるeラーニングを用いた教育事業」という、コロナの影響により学習が遅れてしまっているという社会課題、及びその社会課題の解決に向けたプロジェクトマネジメント活動を題材に、グループワークを行いました。



当日は「ステークホルダー登録簿」「ロジックモデル」「ベネフィットリスト」の3つのソーシャルPM手法を理解できた一日となりました。

通常のプロジェクトとは違った「ソーシャル」なプロジェクトが題材となっていたため、普段は検討が不要な領域まで検討が必要だということに気付かれる方が多く、「非常にワクワクしたので、実際に使ってみます」という声をいただくことができました。

引き続きソーシャルプロジェクトで活用できるPM手法の開発及び普及を進めていきます。

今年度は、残りあと2回のワークショップ開催を予定しております。

- ・ 第1回 2021年 8月28日 『ソーシャル課題解決に向けたデザイン思考&アジャイル実践WS』
- ・ 第2回 2021年10月23日 『ソーシャル課題解決に向けたステークホルダー&ベネフィットマネジメント実践WS』
- ・ 第3回 2021年12月11日 『ソーシャル課題解決に向けたポートフォリオマネジメント実践WS』
- ・ 第4回 2022年 2月26日 『ソーシャル課題解決に向けたビジネスモデル実践WS』

ソーシャルPM研究会 普及活動WG担当